



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月4日

上場会社名 日本信号株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6741 URL http://www.signal.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 英彦
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 藤本 浩正 (TEL) 03-3217-7200
 四半期報告書提出予定日 2020年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,711	△14.3	626	315.7	1,053	156.9	373	—
2020年3月期第1四半期	18,343	26.0	150	—	410	412.9	△137	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,584百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △443百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.99	—
2020年3月期第1四半期	△2.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	123,465	80,047	64.8
2020年3月期	137,971	79,648	57.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 80,047百万円 2020年3月期 79,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	19.00	26.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	7.00	—	19.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△23.9	4,500	△49.5	4,700	△51.4	2,800	△57.5	44.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	68,339,704株	2020年3月期	68,339,704株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	5,967,950株	2020年3月期	5,967,888株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	62,371,754株	2020年3月期1Q	64,937,986株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴う都市封鎖(ロックダウン)等により経済活動の停滞が余儀なくされたこと、感染拡大第2波に対する強い懸念が続いていることから、世界恐慌以来の景気後退とも言われております。

国内経済においても、緊急事態宣言の下で経済活動抑制や外出自粛の影響により設備投資の先送りや個人消費が低迷したことに加え、世界的な経済損失拡大を受けて、景気が急速に悪化しております。現在、段階的に経済活動は再開されているものの、国内外で感染拡大の収束見通しが立っていないことから、先行きに対する不透明感が強い状況となっております。

このような厳しい状況下ではありますが、当社グループは「インフラの進化」を安全・快適のソリューションで支えることにより、国内外の社会的課題を解決していくことを使命として、2019年度より新しい長期経営計画「Vision-2028 EVOLUTION 100」をスタートさせました。当期は「Vision-2028 EVOLUTION 100」を3年ごとに分けた中期経営計画の2年目となります。全事業に劇的な変化をもたらす可能性のあるデジタル技術に対応した新たな商材の実用化・営業活動に取り組むと共に、持続的成長のための事業構造改革に引き続き取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績といたしましては、受注高は20,910百万円(前年同期比14.2%減)、売上高15,711百万円(前年同期比14.3%減)となりました。損益面につきましては、626百万円の営業利益(前年同期比315.7%増)、1,053百万円の経常利益(前年同期比156.9%増)、373百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期は137百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の状況といたしましては、以下のとおりです。

[交通運輸インフラ事業]

国内市場においては、JR・私鉄各社に向けたATC(Automatic Train Control/自動列車制御装置)やCTC(Centralized Traffic Control/列車集中制御装置)など各種信号保安装置やフィールド機器、交通管制システム上位装置や自動起動式発動発電機の受注・売上がありました。海外市場においては、バングラデシュ・ダッカやインド・アームダバードでの信号保安装置の売上がありました。

結果といたしましては、受注高は12,333百万円(前年同期比11.4%増)となり、売上高につきましては8,090百万円(前年同期比8.2%減)となりました。また、損益面では912百万円のセグメント利益(前年同期比19.1%増)となりました。

[ICTソリューション事業]

国内市場においては、多様なラインナップを強みとしたホームドアが首都圏以外においても採用されたほか、地下鉄の新駅開業に伴う駅務機器、フラップレスシステムの駐車場管理機器の受注・売上がありました。海外市場においては、バングラデシュ・ダッカやインド・アームダバードのAFCシステムの売上がありました。

結果といたしましては、受注高は8,576百万円(前年同期比35.5%減)となり、売上高につきましては7,621百万円(前年同期比20.0%減)となりました。また、損益面では440百万円のセグメント利益(前年同期比107.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、たな卸資産の増加4,922百万円等がありましたものの、受取手形及び売掛金の減少20,786百万円、現金及び預金の減少698百万円等により14,506百万円減少し、123,465百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少7,771百万円、支払手形及び買掛金の減少4,119百万円、未払法人税等の減少2,089百万円等により、前連結会計年度末に比べ14,905百万円減少の43,418百万円となりました。

純資産は、配当金の支払1,185百万円等がありましたものの、その他有価証券評価差額金の増加1,217百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上373百万円の発生等により前連結会計年度末に比べ、398百万円増加の80,047百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は11,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ689百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加や仕入債務の減少等がありましたものの、主に売上債権の減少により8,826百万円の資金の増加（前年同期は11,954百万円の資金の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により、254百万円の資金の減少（前年同期は138百万円の資金の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済や配当金の支払等により、9,249百万円の資金の減少（前年同期は13,185百万円の資金の減少）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を合理的に算定することが困難なことから、前連結会計年度末では業績予想を未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報から得られた判断に基づき算定した業績予想を公表いたします。

当期の金額見通しは、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前期増減率 (%)	金額	対前期増減率 (%)
交通運輸 インフラ事業	48,000	△14.2	5,600	△10.3
I C T ソリューション事業	37,000	△33.6	2,100	△66.2
小計	85,000	△23.9	7,700	△38.2
調整額	—	—	△3,200	—
合計	85,000	△23.9	4,500	△49.5

（注）セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,619	11,921
受取手形及び売掛金	58,619	37,833
電子記録債権	2,016	2,074
商品及び製品	3,838	4,978
仕掛品	10,576	13,515
原材料及び貯蔵品	2,922	3,765
その他	2,000	2,836
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	92,593	76,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,000	7,112
機械装置及び運搬具（純額）	1,251	1,257
工具、器具及び備品（純額）	1,259	1,278
土地	5,488	5,488
リース資産（純額）	105	110
建設仮勘定	771	669
有形固定資産合計	15,876	15,916
無形固定資産		
無形固定資産	1,727	1,681
投資その他の資産		
投資有価証券	22,263	23,993
長期貸付金	5	5
退職給付に係る資産	1,979	2,010
繰延税金資産	1,756	1,233
その他	1,792	1,722
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	27,773	28,941
固定資産合計	45,378	46,539
資産合計	137,971	123,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,646	12,527
電子記録債務	5,199	4,686
短期借入金	13,097	5,326
リース債務	5	6
未払法人税等	2,416	327
賞与引当金	2,700	1,453
受注損失引当金	466	375
その他	8,266	9,150
流動負債合計	48,799	33,853
固定負債		
長期預り金	95	95
長期未払金	107	81
リース債務	18	24
繰延税金負債	371	372
退職給付に係る負債	8,930	8,990
固定負債合計	9,523	9,565
負債合計	58,323	43,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,585	7,585
利益剰余金	59,644	58,833
自己株式	△6,570	△6,570
株主資本合計	70,659	69,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,014	10,232
退職給付に係る調整累計額	△26	△33
その他の包括利益累計額合計	8,988	10,198
純資産合計	79,648	80,047
負債純資産合計	137,971	123,465

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	18,343	15,711
売上原価	14,824	11,977
売上総利益	3,518	3,734
販売費及び一般管理費	3,367	3,107
営業利益	150	626
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	171	218
生命保険配当金	165	170
不動産賃貸料	81	81
その他	17	15
営業外収益合計	436	489
営業外費用		
支払利息	6	10
為替差損	118	28
不動産賃貸費用	12	12
その他	39	11
営業外費用合計	177	62
経常利益	410	1,053
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	1	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	408	1,050
法人税等	545	676
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△137	373
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△137	373

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△301	1,217
退職給付に係る調整額	△5	△7
その他の包括利益合計	△306	1,210
四半期包括利益	△443	1,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△443	1,584

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	408	1,050
減価償却費	473	475
固定資産除売却損益(△は益)	1	3
受取利息及び受取配当金	△171	△221
支払利息	6	10
売上債権の増減額(△は増加)	21,547	20,727
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,812	△4,922
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,389	△4,624
前受金の増減額(△は減少)	1,590	1,187
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	50
その他	△2,672	△2,943
小計	13,981	10,792
利息及び配当金の受取額	171	221
利息の支払額	△6	△10
法人税等の支払額	△2,191	△2,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,954	8,826
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△33	△45
定期預金の払戻による収入	42	54
有形固定資産の取得による支出	△187	△389
無形固定資産の取得による支出	△16	△86
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	59	215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△264	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	△11,000	△7,817
関係会社からの預り金による純増減額 (△は減少)	△10	△60
関係会社以外からの預り金による純増減額 (△は減少)	△2	△185
リース債務の返済による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,175	△1,185
自己株式の増減額(△は増加)	△732	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,185	△9,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,413	△689
現金及び現金同等物の期首残高	12,387	12,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,974	11,877

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月7日 取締役会	普通株式	1,175	18.00	2019年3月31日	2019年5月31日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年5月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、自己株式は当第1四半期連結累計期間に732百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において3,803百万円となりました。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月20日 取締役会	普通株式	1,185	19.00	2020年3月31日	2020年6月2日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末(年度末又は第2四半期連結会計期間末)までにはほぼ解消が見込まれるため、当第1四半期連結会計期間末では、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通運輸 インフラ事業	ICT ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,814	9,528	18,343	—	18,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,814	9,528	18,343	—	18,343
セグメント利益	766	212	979	△828	150

(注) 1. セグメント利益の調整額△828百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通運輸 インフラ事業	ICT ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,090	7,621	15,711	—	15,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,090	7,621	15,711	—	15,711
セグメント利益	912	440	1,353	△726	626

(注) 1. セグメント利益の調整額△726百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。